

令和7年3月25日
世田谷区立尾山台小学校
校長 小田 正弥

前年度の改善方策について実行した改善結果

令和5年度の学校関係者評価報告書並びに自己評価をふまえ、令和6年度に実行した改善結果は次のとおりです。

1 子ども一人一人が、安心して自分のよさを發揮し、笑顔と元気にあふれる、意欲的、創造的に活動する学校

- (1) 尾山台小学校で継続して進めている校内研究「キャリア教育」を推進し、キャリア・パスポートを活用したキャリア・カウンセリングによる、ほめて伸ばす指導、子どもたちのよさを引き出す指導を推進しました。キャリア・カウンセリングを意識することは、小学校教員の専門性として、私が校長として教職員に示している4つの視点、1) 目の前の子どもたちに伝わる指示、2) 意欲的にさせる発問、3) 理解させる説明、4) 共感・協働する場の設定、につながり、わかる・できる授業につながります。今後も継続して進めていきます。
- (2) 今年度は月に一回実施する校内委員会を強化し、全ての児童がすばらしい個性を持ち、その個性を生かすことができるよう、特別支援教育を意識した学級づくり・授業づくりを進めました。特別な配慮ではなく、誰もがその時に必要な支援や配慮を受けることができるよう、児童理解、児童の相互理解、保護者との連携を進めました。

2 保護者・地域社会と相互理解、連携を図り、学校の役割をよりよく果たして、その信託にこたえる開かれた学校

- (1) 今年度は、6年生で実施する「リアル職業調べ」に向け、各学年で、キャリア教育として行う地域と連携した体験活動を明確化しました。

1年生「おやまだいへようこそ（保幼小）」
2年生「おやまだいだいすき（商店街）」
3年生「地域安全マップを作ろう」
けやき（低）「地域の人々のお仕事」
4年生「ともに生きる（福祉）」
5年生「地域を守る人々（防災）」
けやき（高）「接客パーソナル」
6年生「リアル職業調べ」

1年生から6年生に向けてだんだんと人間関係が拡がるような形、地域との連携が深まる形になっています。地域の商店街とは継続して良好な関係を築くことができています。地域の皆様には、子どもたちの登下校の安全・安心についても高い意識を持っていただいていると感じています。今年度も美術クラブの活動として、東京都市大学と連携した活動を行うことができました。

3 芸術や伝統・文化に学ぶ教育活動を大切にし、情操や感性を豊かに育てる学校

- (1) 今年度の文化的行事は、展覧会を実施しました。また今年度も学校公開の他に、月に一回行う音楽集会を公開しました。学校で指導する子どもたちに身近な芸術である音楽・図画工作で学んだことを子どもたちが発表する機会を作ることができました。
- (2) 縄跳び週間に合わせてプロスポーツ選手を招聘し、子どもたちが指導を受ける時間を今年度も設けることができました。学校全体で、子ども自らが目標をもち、楽しみながら運動できる環境づくりができました。

4 その他

- (1) 読書活動については、週に1回配当されている図書室の時間の活用を特に中学年までは確実に行うこと（高学年は国語の授業時数が他学年より少ないため）その時間は児童の自由にせず、本校の司書教諭や図書館司書と連携した図書の指導を行うことを、校長としての明確な指示として実施しました。その他、日常の授業の邪魔にならない程度に、希望者が行う暗唱詩文の紹介や本の紹介を校長からしていました。次年度は本校の司書教諭、図書館司書を中心に、読書活動の啓発をしていきます。

- (2) 「目標」「めあて」が多すぎることについては、大幅に削減しました。

学校の教育目標

すすんで学ぶ子

あかるい心をもつ子

じょうぶな体をつくる子

なかよく力をあわせる子

と、キャリア教育の目標

つながる力 見つめる力 たかめる力 ゆめにむかう力

（学年ごとに4つの力を育てる目標を立てています）

に絞っています。子どもたちだけでなく、指導する教職員にとってもシンプルになりました。
次年度も継続していきます。